

議案第10号

## 名張市文化財の指定について

名張市文化財保護条例（平成12年条例第14号）の規定に基づき、別紙のとおり市指定有形文化財の指定を行う。

平成30年3月13日提出

名張市教育委員会  
教育長 上 島 和 久

名張市文化財保護条例（平成12年3月29日条例第14号）第4条第1項の規定により次の文化財を市指定有形文化財に指定する。

名 称：延寿院津藩主寄進状

数 量：9通

種 別：有形文化財 書跡

所在場所：名張市赤目町長坂755番地

指定理由：伊賀一国の納経所であった延寿院に、寛永13（1636）年8月2代目の高次公から瀧不動堂に23石8斗4升の寺領が寄進されました。以後、津藩主藤堂家の祈願所として、江戸時代を通じて藩主の交代ごとに寄進状を受け、文政10（1827）年11代高猷公までの寄進状の全て、9通が残されています。江戸時代を通じて津藩と延寿院とのつながりを示すと共に、藩の地域経営を知るうえで貴重な資料です。

所有者氏名又は名称及び住所：

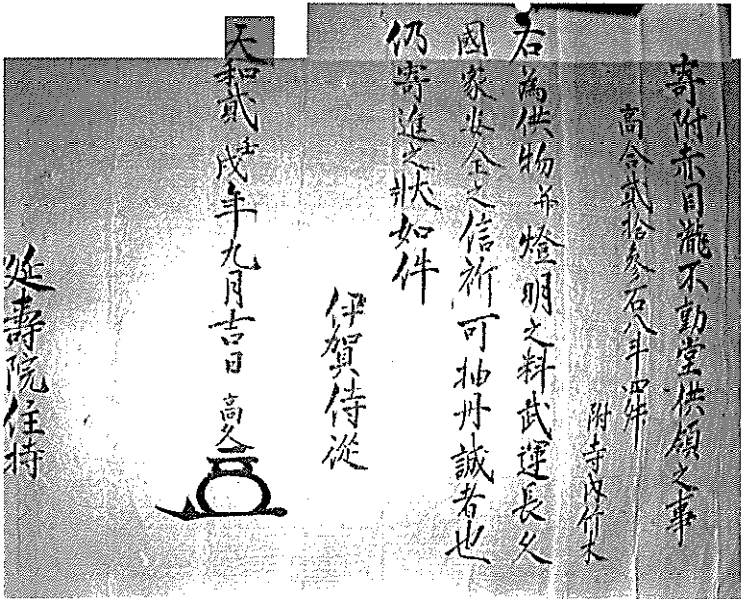
宗教法人延寿院 代表役員 松本篤明（名張市赤目町長坂755番地）

管 理 者：同上

延寿院津藩主寄進状

番号	1	史料名	第2代 藤堂高次（たかつぐ）公寄進状		
年代	寛永13年（1636）8月吉辰				
寸法	縦 45.8cm	×	横 62.0cm	状態	書状
翻刻	<p style="text-align: right;">奉寄附瀧不動堂御供領之吏</p> <p style="text-align: right;">高合貳拾参石八斗四升 附タリ寺内竹木等</p> <p style="text-align: right;">右領者為供物并燈明之料然者且暮 武運長久國家安全之信祈可抽 丹誠者也仍寄進之狀如是</p> <p style="text-align: center;">寛永十三丙子年八月吉辰 伊賀侍從 藤堂氏高次（花押） 延壽院住侶</p>				
画像					

## 延壽院津藩主寄進状

番号	2	史料名	第3代 藤堂高久（たかひさ）公寄進状		
年代	天和2年（1682）9月吉日				
寸法	縦 53.5cm × 横 60.0cm	状態	額装貼り付け		
翻刻	<p style="writing-mode: vertical-rl; float: right; margin-right: 20px;">寄附赤目瀧不動堂供領之事</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; float: right; margin-right: 20px;">高合貳拾参石八斗四升 附寺内竹木</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; float: right; margin-right: 20px;">右為供物并燈明之料武運長久 國家安全之信祈可抽丹誠者也 仍寄進之狀如件</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; float: right; margin-right: 20px;">天和貳 戌壬 年九月吉日 伊賀侍從 高久（花押）</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; float: left;">延壽院住持</p>				
画像					

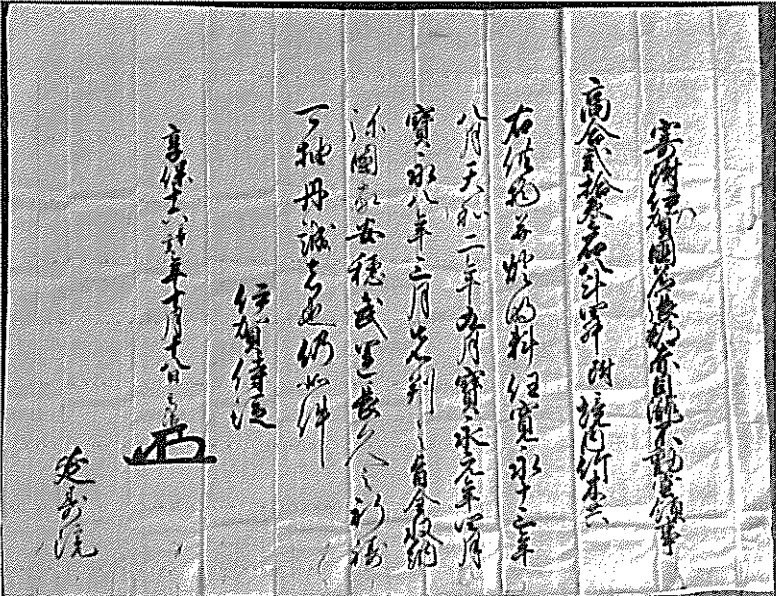
延寿院津藩主寄進状

番号	3	史料名	第4代 藤堂高睦 (たかちか) 公寄進状		
年代	宝永元年 (1704) 4月朔日				
寸法	縦 53.5cm	×	横 55.0cm	状態	額装貼り付け
翻刻	<p>寄附伊賀國名張郡赤目瀧不動堂領事 高合貳拾参石八斗四升 附 境内竹木共</p> <p>右供物并燈明料任寛永十三年八月 天和二年九月先判之旨全收納弥 國家安穩武運長久之祈禱可抽 丹誠者也仍如件</p> <p>從四位下伊賀侍從藤堂大學頭 寶永元年甲申年四月朔日 高睦 (花押) 延壽院</p>				
画像					

延寿院津藩主寄進状

番号	4	史料名	第5代 藤堂高敏 (たかとし) 公寄進状		
年代	宝永8年 (1711) 3月15日				
寸法	縦 53.5cm	×	横 59.0cm	状態	額装貼り付け
翻刻	<p>寄附伊賀國名張郡赤目瀧不動堂領事 高合貳拾参石八斗四升 附 境内竹木共</p> <p>右供物并燈明料任寛永十三年八月 天和二年九月寶永元年四月先判之旨 全收納彌國家安穩武運長久之祈禱 可抽丹誠者也仍如件</p> <p>寶永八年三月十五日 伊賀侍從 高敏 (花押) 延壽院</p>				
画像					

延寿院津藩主寄進状

番号	5	史料名	第6代 藤堂高治（たかはる）公寄進状		
年代	享保16年（1731）10月18日				
寸法	縦 52.5cm × 横 68.0cm	状態	書状		
翻刻	<p style="text-align: right;">寄附伊賀國名張郡赤目瀧不動堂領事</p> <p style="text-align: right;">高合貳拾参石八斗四升 附 境内竹木共</p> <p style="text-align: right;">右供物 并 燈明料 任 寛永十三年 八月天和二年九月寶永元年四月 寶永八年三月先判之旨全収納 弥國家安穩武運長久之祈禱 可抽丹誠者也仍如件</p> <p style="text-align: right;">享保十六 亥年十月十八日 伊賀侍從 高治（花押）</p> <p style="text-align: center;">延壽院</p>				
画像					

延寿院津藩主寄進状

番号	6	史料名	第7代 藤堂高豊 (たかとよ) 公寄進状		
年代	元文2年 (1737) 8月7日				
寸法	縦 53.0cm	×	横 67.0cm	状態	書状
翻刻	<p>寄附伊賀國名張郡赤目瀧不動堂領事 高合貳拾参石八斗四升 附 境内竹木共</p> <p>右供物 并 燈明料任寛永十三年八月 天和二年九月寶永元年四月寶永八年 三月享保十六年十月先判之旨全収納 可抽丹誠者也仍如件</p> <p>元文二丁巳年八月七日 伊賀侍從 高豊 (花押)</p> <p>延壽院</p>				
画像					



延寿院津藩主寄進状

番号	7	史料名	第9代 藤堂高嶷 (たかさど) 公寄進状		
年代	安永3年 (1774) 1月18日				
寸法	縦 52.4cm	×	横 67.0cm	状態	書状
翻刻	<p>寄附伊賀國名張郡赤目瀧不動堂領事 高合貳拾參石八斗四升 附 境内竹木共</p> <p>右供物 并燈明料任寛永十三年 八月天和二年九月寶永元年四月 寶永八年三月享保十六年十月 元文二年八月先判之旨全收納 國家安穩武運長久之祈禱可抽 丹誠者也仍如件</p> <p>安永三年甲午正月十八日 伊賀侍從 高嶷 (花押) 延壽院</p>				
画像					

延寿院津藩主寄進状

番号	8	史料名	第10代 藤堂高允 (たかさわ) 公寄進状		
年代	文化6年 (1809) 8月23日				
寸法	縦 48.0cm	×	横 65.0cm	状態	書状
翻刻	<p>寄附伊賀國名張郡赤目瀧不動堂領事 高合貳拾参石八斗四升 附 境内竹木共</p> <p>右供物 并 燈明料 任 寛永十三年 八月天和二年九月寶永元年四月 寶永八年三月享保十六年十月元文二年 八月安永三年正月先判之旨全收納弥 國家安穩武運長久之祈禱可抽丹誠 者也仍如件</p> <p>文化六己年八月廿三日 伊賀侍從 高允 (花押) 延壽院</p>				
画像					

延寿院津藩主寄進状

番号	9	史料名	第11代 藤堂高猷（たかゆき）公寄進状		
年代	文政10年（1827）8月11日				
寸法	縦 51.5cm × 横 66.0cm		状態	書状	
翻刻	<p>寄附伊賀國名張郡赤目瀧不動堂領事 高合貳拾参石八斗四升 附 境内竹木共</p> <p>右供物 并 燈明料任寛永十三年 八月天和二年九月寶永元年四月寶永 八年三月享保十六年十月元文二年八月安永 三年正月文化六年八月先判之旨全收納 弥國家安穩武運長久之祈禱可抽 丹誠者也仍如件</p> <p>文政十 亥丁年八月十一日 伊賀侍從 高猷（花押） 延壽院</p>				
画像	